

第36回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 関西大会

出場チーム 各位

第36回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 関西大会

熱中症対策について

関西クラブユースサッカー連盟

2016年3月10日にJFAより発表された「熱中症について（ガイドライン）」を受けて、第36回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 関西大会（以下、CY 関西大会）においては下記の通り、対策を講じます。可能な限り、選手が安心して安全にプレーできる環境を整え、選手の生命に関わるような事態が起きないように大会を運営していきたいと思っております。各クラブのご理解、ご協力をお願い致します。

記

- ① 対象試合：クラブユース関西大会（全試合）
- ② 試合当日：各会場にWBGT計を設置、各会場責任者の指示に従って下さい。

※「計測方法」はJFAガイドラインによる

■【WBGT28℃以上の場合】

「Cooling Break」を実施

※前後半1回ずつ、17分を経過した頃に「3分間」

- ①ベンチに戻り、
- ②氷やアイスパック等でからだを冷やし、
- ③水だけではなくスポーツドリンクを飲むことが出来る。

※その他、詳細についてはJFAガイドラインを参照

■【WBGT27℃以下の場合】

「飲水タイム」を実施

※前後半1回ずつ、17分を経過した頃に「30秒～1分程度」ライン上に置かれている個人のボトルをとるか、それぞれのチームベンチ前でベンチのチーム関係者から容器を受け取ってライン上で飲水する。（原則、ライン上の為「水」に限るが、スポーツドリンク可能な場合は会場責任者から指示する）

※当日の対応として、数値の取り扱いについては人工芝会場も同様の扱いとする

その他：

- ① スポーツドリンクの摂取場所など、各会場により異なる為、会場責任者の指示に従って下さい。
- ② 各会場共に府県理事を中心にベンチの設営等準備しておりますが、会場により日影のベンチを準備出来ない場合もございます。予めご了承ください。（各チームで簡易テントの準備を宜しくお願い致します）
- ③ 暑熱対策については、各会場責任者の指示のもと実施してください。
- ④ 各チームにおいては、熱中症対策を十分に講じてもらい、試合に挑んで下さい。又、選手にも食事や体調管理などのご指導をお願いします。選手を守る事が出来るのは指導者だけです。

以上

■熱中症対策における各グラウンドのスポーツドリンク飲料可能エリア及びAED設置場所

※原則、ピッチ内は水のみとなります。

【J-GREEN 堺】

スポーツドリンク飲水可能エリア：ピッチ外のコンクリート上（芝生上は禁止）

AED：各ロッカーハウス前、クラブハウス1階、クラブハウス内医務室に設置

【アスパ五色メイン・サブ】

スポーツドリンク飲水可能エリア：ベンチ内、ベンチ横可能（芝生上は禁止）

AED：体育館とメイングラウンドクラブハウス内救護室に各1台設置

【エストパーク】

スポーツドリンク飲水可能エリア：ベンチ内（グラウンド上にこぼれないようご注意ください）

AED：グラウンド横のクラブハウス内

【OFA 万博フットボールセンター】

スポーツドリンク飲水可能エリア：ベンチ内で可能

AED：グラウンドに併設されているグラウンド事務所内

【舞洲人工芝グラウンド】

スポーツドリンク飲水可能エリア：ベンチ内で可能

AED：グラウンド入口（右側）に設置の倉庫内

■【注意事項】

- ・「飲水タイム」と「Cooling Break」の違いを確認して下さい。
- ・「Cooling Break」の際に使用する氷やアイスパックも必ずご準備下さい。
- ・「熱中症対策について」「熱中症対策ガイドライン」を必ずご確認下さい。